

相馬事業所における太陽光パネルリサイクル事業申請に関するお知らせ

当社相馬事業所(福島県相馬市)における太陽光パネルリサイクル事業開始に向けて、福島県の条例に基づく指定処理施設の設置許可を申請いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 経緯

当社グループでは、2030年代半ば以降、廃太陽光パネルが大量に排出されることを想定して、2022年1月より連結子会社の株式会社信州タケエイ(以下「信州タケエイ」、長野県諏訪市)において、太陽光パネルリサイクル事業を開始しております。今般当社の相馬事業所において、太陽光パネルリサイクル事業の更なる拡充に向けて、福島県の条例に基づく指定処理施設の設置許可を申請いたします。

2. 事業内容

相馬事業所のリサイクル工程の特徴は、アルミ枠を外した発電シートを「PVリサイクルハンマー」(株式会社チヨダマシンナリー製)に投入して過熱した後、ガラス層にシートが付着しにくい状態で表面ガラス層を破碎剥離して粒度を調整し、更に色彩選別機によって純度の高いガラスカレットに再生するものです。先行してリサイクル事業を開始している信州タケエイ、及び2022年5月に子会社化したJWガラスリサイクル株式会社のノウハウを活用して、リサイクル原料となるガラスカレットの品質を向上させ、ガラス to ガラスへの再資源化を推進いたします。

相馬事業所では、半径100km圏内にメガソーラー施設が約1GWあるため、不要品や故障品等の回収に注力するほか、太陽光パネルのリユース会社からの不良品の排出先としてのネットワークの構築にも取り組みます。また、至近にある相馬港を活用して全国から廃太陽光パネルの受入れが可能であることから、広大な用地を大規模保管施設として利用することで他社との差別化を図ってまいります。

本事業は、TREグループの成長戦略である「高度循環型社会の実現に向けたリサイクル事業の深化」および「新たな技術開発、ビジネスモデル構築への挑戦」に資する取り組みであり、今後グループを挙げて太陽光パネルリサイクル事業を進めてまいります。

3. 相馬事業所について

2017年6月に当社が取得した福島県相馬市の約8万5,000坪(東京ドーム約6個分)の用地で、TREグループのノウハウを結集した総合リサイクルプラントとして開発を推進しております。

4. 今後のスケジュール

指定処理施設の設置許可承認後、設置工事及び処分業許可申請を行い、2024 年の設備稼働を目指します。

5. 業績の見通し

本件が当期連結業績予想に与える影響はございません。長期的にはその波及効果も含めて連結業績の向上に貢献していくものと考えております。



相馬事業所の航空写真（黄色枠内）

| | |
|----------------------------|---|
| 相馬事業所の稼働日数 | 年間 244 日（月間 20 日） |
| 〃 稼働時間 | 1 日あたり 8 時間 |
| 稼働開始当初※ ¹ の処理能力 | 9 t / 日（廃太陽光パネル約 490 枚に相当※ ² ） |

※¹ 処理能力は今後、順次拡張予定です。

※² 廃太陽光パネルは、相馬事業所から半径 100 km 圏内の太陽光発電施設において 1 か月当たり 5,000～7,500 枚程度発生すると見込んでおります。

以上